

島根県オリジナルぶどう『**神紅（しんく）**』での就農を目指す方を募集しています。
研修期間中からぶどうの育成を行うことで**有利な条件で就農**することができます。

募集目的・募集人数

農業の担い手確保や持続的な産地の発展を目指して、以下のとおり新規就農希望者を募集します。

- ・R8年度活動開始 1人（活動開始時期：R8年4月）

求める人物像

- ・ぶどう農家として就農を目指し、邑南町での田舎暮らしを楽しめる方
- ・就農後も技術向上、経営改善に取り組み、責任ある農業経営ができる方
- ・18歳～46歳の方（令和11年4月1日時点の年齢が49歳以下の方）
- ・その他「おーなんアグサポ隊」の応募条件を満たす方 ※『おーなんアグサポ隊募集要項』参照

就農までの流れ及び知識・技術の習得方法

1年目：基礎研修

研修専用ほ場でJAや県の指導のもと野菜、花き、果樹（ぶどう）の栽培を行い、農業の基礎知識や栽培技術を学びます。

2年目：専門研修

研修1年目に建設されたハウスでぶどう（神紅）の定植及び育成管理を行います。また、島根県立農林大学校（短期養成コース）に入学して専門知識や栽培技術を学びます。

3年目：自営研修

引き続き新植したぶどうの管理を行いながら就農計画の作成など就農に向けた準備を行います。

※詳しくは『おーなんアグサポ隊募集要項』をご覧ください。



農地・住居の確保

【農地】

研修期間中に就農予定地として右記の「リースハウス」を建設します。（事業実施主体：JA）リースハウスの建設にあたり農地の確保は町が行います。

【住居】

邑南町への移住にあたっては町営住宅に入居することができます。
また、町内には邑智郡内唯一の救急告示病院があるほか、保育所9カ所、小学校8校、中学校3校、高校1校、養護学校1校があり、医療環境や教育環境が充実しています。

経営モデル

下記の支援制度を活用してリースハウスにて就農する場合の経営モデルです。

○ 神紅 30aで就農

・栽培方法内訳

一重被覆無加温	14a
二重被覆無加温	16a

・収支試算

販売額	9,993,600円
経費	4,857,128円
所得	5,136,472円

（所得率 51.4%）

年間総労働時間 （自分＋家族＋雇用）	2,415時間
-----------------------	---------

○ 神紅 20aで就農

・栽培方法内訳

一重被覆無加温	10a
二重被覆無加温	10a

・収支試算

販売額	6,636,000円
経費	3,173,743円
所得	3,462,257円

（所得率 52.2%）

年間総労働時間 （自分＋家族＋雇用）	1,610時間
-----------------------	---------

※ 就農5年後の経営モデルの一例であり、所得を保証するものではありません。
※ 補助事業の内容変更や資材高騰等により設備投資額や所得は経営モデルから変動する場合があります。

【販売方法】

品質基準を満たすものは全量JAに出荷することができ、**販路に困ることはありません。**

販売先に制限はなく、個人販売を行うこともできます。

就農支援

【研修期間中】

報償費：266,000円／月（地域おこし協力隊・最長3年間）

【就農後】

以下の事業は「就農時に49歳以下」の認定新規就農者が対象となります。

①経営発展支援事業（機械・施設導入）

支援額：750万円（②の交付対象者は上限375万円）
負担区分：（国）1／2 （県）1／4 （本人）1／4（借入が必須）

②経営開始資金

支援額：12.5万円／月〔150万円／年〕（最長3年間）
負担区分：（国）10／10

☆ リースハウス事業 ☆

邑南町ではぶどうでの就農にあたって課題となる初期投資や就農初期の未収益期間の負担を低減させるため、リースハウス事業を実施しています。

リースハウスを活用することで**農地確保の心配がないこと**や**設備投資額が抑えられること**、研修期間中からぶどうの育成を行うことで**未収益期間が短縮できる**などのメリットがあります。

リースハウス

イメージ図



※ 就農予定地のハウス建設は、研修1年目及び3年目に分けて行う予定です。補助金の状況等によっては建設時期が変わる場合があります。